

第 5 回 檀原市教育施設再配置検討審議会 会議録

日 時：	令和 3 年 10 月 26 日（火） 10：00～11：30
場 所：	大和信用金庫八木支店 3 階第 1 会議室
出席者：	委 員 藤原会長、重松委員、天根委員、岡田委員、鶴田委員、榎谷委員、米川委員、尾田委員、辰巳委員、原山委員、堀本委員、森本委員、三田委員、山中委員 事務局 事務局：教育長、吉田部長、栗原副部長、加護副部長、太田副部長、吉川課長、吉住課長、上田課長補佐、井上課長補佐、井岡指導主事、東浦主査 長大：諏訪、依田
欠席者	委 員 仲嶋委員
資料：	資料 00_本検討審議会の委員名簿（令和 3 年 5 月更新） 資料 01_檀原市教育施設再配置実施計画の方向性について 答申書（案） 補足資料 01_本検討審議会への諮問事項と基本的な考え方の整理 補足資料 02_第 2 期の児童生徒数推計値 補足資料 03_「新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方について」 中間報告【概要】
1. 開会	開会挨拶
	資料確認
2. 議事	議事 1）檀原市教育施設再配置実施計画の方向性について（答申書案）
会長	それでは、これより議事に入ります。事務局より説明をお願いします。
	資料説明
事務局	【資料 01 檀原市教育施設再配置実施計画の方向性について 答申書（案）】 「再配置実施計画（第 1 期）について」に係る説明
会長	答申書の前半部分にあたる内容の説明でした。ここまでご意見はありますか。
委員	これまでの議論ですでに確認されていることだと思いますが、白檀南小学校舎は耐震化されている校舎でしょうか。
事務局	市内の小中学校の校舎は全て耐震化が完了しております。
委員	1 ページの「はじめに」の文章のなかで、「小規模化した学校を再編することで、適正な集団教育活動が可能となることに加えて、1 校あたりの教職員数も増え、校内での研修や情報交換などが活性化して教職員のスキルアップにも繋がる教育環境への改善が期待されます。」とありますが、これは再編によって教職員数が特別に増えるということではないと思いますが、どうでしょうか。

事務局	<p>教職員数についてですが、教職員は学校あたりの児童生徒数に応じて県の配置が行われます。そのため、統合後は白樫南小学校、白樫北小学校の両校とも、統合前に比べ、今よりも児童数が増えることとなりますので、その分、教職員の配置も多くなるという意味で記載しています。</p>
委員	<p>今の説明であれば、統合による特別な配置ではないということだと思いますが、そのことを再編の答申にあえて記載するというのはどのような意図があるのでしょうか。</p>
事務局	<p>統合によって、2校とも小規模校の状態が解消され、クラス数が増えることで担任を持つ教員が増えます。同学年の教員が増えることで、教員同士が互いにサポートし、スキルアップに繋げることができるということで、再編のメリットとして、答申に記載しています。</p>
委員	<p>私の意見ですが、教員のスキルアップは教職員数に関わらず、大きい規模の学校、小さい規模の学校がそれぞれ行っていることであると理解しているので、あえて記載する必要はないと思います。</p> <p>別の質問になりますが、通学路に関してですが、通学距離で2 kmというのは徒歩でどれぐらいの時間になりますか。</p>
事務局	<p>低学年の子どもであれば30分ぐらいの時間は掛かるであろうと想定しています。</p>
委員	<p>私の校区でも小学校まで徒歩30分、雨であれば40分掛けて通っている子どもがいます。通学距離に関しては白樫地域の方からはどのような意見がありますでしょうか。</p>
事務局	<p>これまで保護者説明会や住民説明会を実施してきましたが、2 kmという通学距離については、市内を見れば特別長い距離ではないなどのことから、今のところ通学支援についての強い要望はございません。</p>
委員	<p>今の説明は理解しました。ただ、これから統合をしていこうという地域に対しては、新しい考え方を持って、通学支援などを検討してもいいのではないかと思います。どうでしょうか。</p>
事務局	<p>今後、白樫の再編を進めていくうえでは、様々なことを地域や保護者の方々と協議を行っていきませんが、そのなかで通学路や通学方法についても協議の場を持ち、検討していきたいと考えております。</p>

委員	<p>答申書の内容として、今の表現のままであれば通学については徒歩が前提であることが決まっているように受け取られるのではないかと思いました。協議の場を持たれるということであれば、この審議会でも通学距離について心配の声があったということをもその場でも伝えてもらったうえで、十分協議をお願いしたいです。</p>
事務局	<p>徒歩での通学が断定的に書かれているように見えるとのご意見ですので、「地域、保護者との協議のなかで決めていきます」というような表現を追記したいと思います。いかがでしょうか。</p>
委員	<p>よろしく申し上げます。</p>
会長	<p>それでは事務局から提案のあった通り、3ページの「通学路に関すること」についての文章を修正してください。</p>
委員	<p>教員の立場として意見を述べますが、教職員の数が多いことは非常にメリットがあると感じます。教員の人数が多くなればそれだけ違う価値観を持った意見交換ができます。また、それぞれ得意の分野を他の職員へ広めることも大きなメリットだと思います。ただし、人数が多くなれば集団をまとめあげるリーダーシップを持った管理職が求められることにはなると思います。</p>
委員	<p>児童数に応じて教職員が増えるということですが、あくまでその増減は統合によって特別に人数が増えるということではありませんので、答申の内容には記載する必要がないように思いますが、各委員のご意見はどうでしょうか。</p>
委員	<p>私も今の教職員が増えることについての答申の表現は少しわかりにくいと思います。また、校内の研修やスキルアップの部分についても再編に関係のないことだと思います。</p>
事務局	<p>先ほどの説明と重複しますが、統合する前と、統合した後でどのように変わるのかということだと思います。統合して子どもが増えるのと同じように、教職員の人数が増えることで、現状の教職員数で不足する部分を補えるようになりますので、再編による特別な職員増ということではありませんが、メリットの一つと考えています。</p>
委員	<p>教職員数は児童数によって決まるというケースバイケースの内容であることから、答申のなかであまり強く書く必要もないかとは思いますが。</p> <p>それと同時に、教職員の立場から今の文章を見ますとスキルアップができていないと思われるのか。というように捉えられてしまうことも考えられますので、</p>

	この部分の文章についてはもう少し簡素化した形に変えても良いように思います。
会長	今議論となっている、1ページ目の「はじめに」の文章については人それぞれ感じ方が大きく違っているため、修正あるいは削除することも考えてもいいかと思いますが、事務局から提案はあるでしょうか。
事務局	皆さまからいただいたご意見を踏まえて、文章を削除することも含めて改めて考えさせていただきたいと思います。
委員	教職員が増えるという表現に関しては、こじつけで答申に無理に記載しているよう見え、誤解を与えてしまう恐れのある形になっているように思いますので、ぜひ修正をお願いしたいと思います。
会長	答申内容について修正の必要があるという意見が出ていますが、修正内容は事務局に一任することとし、後日、審議会を開催してまで確認はしないということでしょうか。
委員	審議会を開催しない場合はどのような流れになるのでしょうか。
事務局	本日いただきましたご意見をもとに、後日、会長と協議のうえ修正案を作成します。そして、委員の皆様へ郵送にて修正案を送付しますので、確認期限を設けたうえで内容をご確認いただきます。期限までに修正の連絡がない場合は「修正なし」とさせていただきます、答申書を確定させていただくことを考えていますが、よろしいでしょうか。
	<各委員了承>
会長	そのほか、ご意見がないようですので答申書の後半部分について資料説明をお願いします。
事務局	資料説明 【資料 01 檀原市教育施設再配置実施計画の方向性について 答申書（案）】 「再配置実施に伴って生じることが想定される諸課題への対応について」に係る説明
委員	5ページの「②小中一貫教育について」の文章の冒頭、「学校は単に児童生徒の教育の場だけでなく～」から始まる文章の3行と、次の段落の文章の繋がりがわかりにくいと思います。

委員	<p>今のご意見と同じ意見ですので、併せて発言させていただきます。</p> <p>私の意見としましては、冒頭の3行の文章の意味は、①新しい時代の学びへの対応について、②小中一貫教育について、③地域みんなで考える学校づくりについての全ての項目に係る内容だと思います。そのため、3行の文章は3つの項目をまとめている「これからの学校のあり方を踏まえた諸課題への対応について」のタイトルのリード文として記載してはどうでしょうか。</p>
会長	<p>今の委員のご意見を踏まえて、事務局で修正をしていただくということによろしいでしょうか。</p> <p><各委員了承></p>
委員	<p>学校運営協議会（コミュニティスクール）について、導入も視野に入れて検討するという文章がありますが、文章上では統合に向けて導入を進めていくのか、それとも統合後に導入を進めていくのかがわかりませんでしたのでお聞きします。</p> <p>再編は保護者・地域の理解を得ながら進めていく必要があるということであれば、統合までに白樫南、白樫北小学校の両校で学校運営協議会を設置し、統合に向けての協議を互いの協議会で議論を進めていくということが望ましいと考えますが、事務局としてはどのように考えていますか。</p>
事務局	<p>可能であればそのように進めていくことが望ましいと考えていますが、具体的には地域、保護者、学校との協議を行い検討したいと思います。</p>
委員	<p>答申書の全体的な内容については問題ないと思いますので、これまで出てきた修正点を反映していただければ、みんなに配慮された中身となると思います。</p>
委員	<p>今回の答申書（案）についてはハード面の内容が中心となっており、また、教育総務課へのみの答申ということによろしいでしょうか。再編についてはハード面、ソフト面の両面の検討が必要であり、特にソフト面についても様々な議論が必要となってくると思うので、学校教育課の担う部分も大きいと思いますが、どのように考えていますか。</p>
事務局	<p>学校の再編につきましては、教育総務課内に再配置推進係を設けており、教育総務課が主導となって進めているところですが、委員のおっしゃる通り、学校再編は、施設整備だけでなく、児童へのケアや職員配置など、学校教育課が所管する内容も大きく関連しますので、今回の答申書は教育委員会として受理させていただきたいと考えています。</p>

<p>会長</p>	<p>他にご意見がないようですので、本日の議論はこれまでとなりますが、皆さまからいただいた意見内容につきましては、事務局で修正し、後日、各委員へ修正案を送付し、確認をしていただくということによろしいでしょうか。</p> <p><各委員了承></p>
<p>会長</p>	<p>それでは審議事項は全て終了となりますので、進行を事務局へお返しします。</p>
<p>事務局</p>	<p>今後の流れについて、改めて説明します。答申書につきましては、本日ご意見をいただきました内容を事務局で修正させていただき、会長に内容確認をしていただきます。その後、各委員へ答申書の最終案と本日の議事録（案）を郵送させていただきます。</p> <p>各委員への確認が終わりましたら、答申書を確定させ、審議会を代表して、会長から教育長に答申書をご提出していただきます。</p> <p>その後、各委員には提出された答申書の副本を郵送させていただくとともに、本審議会の解嘱状を送付させていただきますので、その交付をもちまして、本審議会委員の委嘱を解かせていただくというスケジュールを予定しておりますがよろしいでしょうか。</p> <p><各委員了承></p>
<p>3. 閉会</p>	
<p>会長</p>	<p>会長挨拶</p>
<p>教育長</p>	<p>教育長挨拶</p>
<p>事務局</p>	<p>以上をもちまして、教育施設再配置検討審議会を終了させていただきます。長期間、ご審議いただきまして、誠にありがとうございました。</p> <p style="text-align: right;">《終了》</p>